

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 630 号	氏名	厨 源平
学位審査委員		主 査	由井 克之
		副 査	宇谷 厚志
		副 査	中尾 一彦
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、I型糖尿病自然発症モデル NOD マウスを用い、自己免疫病態形成における Th1 と Th17 細胞の役割を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>IL-17 欠損 NOD マウスと IL-17/IFN-γ 受容体ダブル欠損 NOD マウスを作成し、野性型 NOD マウスと比較して膵島炎形成、糖尿病発症、フローサイトメータによる T 細胞の解析等を行っており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、IL-17 と IFN-γ 受容体シグナルの NOD マウスにおける膵島炎形成と若年期糖尿病発症への関与を明らかにしており、今後さらに I 型糖尿病発症機構の研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は自己免疫病発症機構に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			